

<水球陣>関東学生リーグリーグ第5戦

H25.6.16 対防衛大 @早稲田大プール

東大 5 4 2 3 計 1 4

防衛大 3 3 0 5 計 1 1

得点者：大脇（1）、桐生（2）、波間（6）、池亀（1）、梶原（4）

この試合は東工大戦に負けた直後で、上位にいけなかったため必ず下位 1 位になるという意気込みのもとでのぞみました。試合前のミーティングでもコールドに持ち込み大差を見せてやろうという意気込みが確認されました。

第1ピリオド

防衛大学がセンターボールをとって第一ピリオドが始まります。最初の攻撃。一度中にボールを入れられヒヤッとしますが疋田の好セーブでマイボールとします。こんどは逆に東大がボールを中に入れて浪間がフリースローをとり、大脇がハンツーといういい形を作りますが、外してしまいます。結局防衛大が隙をついて先制点をとってしまいます。その後もボールがうまく回らず、浪間が退水を取った時も得点できず流れはよくありません。その後浪間が抜けてシュートを決めたあと、連続で梶原が絶妙なシュートを決めますが、防衛大のフローターの2連続得点で逆転を許します。しかしそのあとはキーパーをよく見て池亀がロングシュートを決め、浪間が相手のもたついているところからボールを奪いひとりで泳ぎ切って得点と再度逆転をし、最後はディフェンスで粘ってカウンターで浪間が得点と次以降のピリオドに向けていい流れが作れたと思います。得点的には5-3といまひとつですし、相手のフローターへの対策が必要だと思いました。

第2ピリオド

最初、浪間がボールを奪い競り合って得点しいい流れが見えましたが、池亀の退水から相手が得点します。その後浪間が競って得点しなかな点差が変わらなくなってきました。東大ディフェンスのプレスのためか相手はフローター任せになってきましたが互いに得点を重ねることができずゲームは停滞します。このあと大脇がハンツーで得点するものの、池亀の退水から得点を許し、桐生がすぐさま得点を奪い返すものの、まともや相手フローターによって大脇が退水し得点を許すという、相手フローターに悩まされる形になりました。

第3ピリオド

最初いきなり池亀が永退させられてしまいますが、その後梶原がカウンターで得点。この後長い間膠着状態となり、お互いシュート打つものの決まらず、最後に梶原が得点して最終ピリオドへとつなぎます。

第4ピリオド

ここで点差が開いてきたので一年生の石田が入りました。センターボールをとる勢いだったのですが、惜しいところで相手にとられてしまいます。相手はこの後得点し、石田がシュートを外しましたが、浪間がバックと競り合って好得点をします。ここで石田は横山と交代。なおも相手フローターを止められず大脇が退水し得点を許します。この時点で東大12点防衛大8点と詰められますが桐生が得点し5点差。しかし相手のループシュートが立て続けに決まり3点差とされます。この後残り時間がわずかとなったところで梶原が相手ディフェンスをかわして絶妙なシュートを決めますが、相手フローターによって梶原が退水し相手が得点して試合が終わります。

結果を見てみれば、相手のフローターによって池亀が永退、大脇が2回、梶原1回と合計して6回も退水させられており、与えた得点も多いです。きちんと対策ができなかったことがこの危うい試合展開の原因の一つだと思います。

最後に、監督をしていただいた田丸さん、応援に来てくださった林裕三さん、ありがとうございました。

(文責 細江尚唯)